

**「クール・ジャパン」の元祖仕掛け人・林忠正**

前坂 俊之(静岡県立大学国際関係学部教授)

1880年代のヨーロッパで浮世絵や日本美術を広めてジャポニズム(日本美術愛好ブーム)を巻き起こしたのが国際的美術商・林忠正である。



そのころ、パリで最ももてた日本人であり、今の『クール・ジャパン』(日本カッコいい)の、いわば元祖仕掛け人ともいえる存在である。

林は嘉永6年(1853)11月、富山県高岡市の外科医の二男に生まれた。明治3年(1870)、富山藩大参事林太仲の養子となり、1871年、18歳で大学南校(現在の東大)に入学、フランス語を学び、同11年(1878)、25歳でパリ万国博覧会(1878年)の通訳としてパリへ渡った。

そのころヨーロッパでは浮世絵、日本画、工芸などの日本の美術品が脚光を浴びる、いわゆる「ジャポニズム」が起きていた。

日本の浮世絵を初めて見たヨーロッパの画家たちは西洋絵画とは全く異質の、その大胆な構図や、カラフルな色調、優美な曲線に驚異の目を見張り、日本美術、文化全体に対して「エキゾチシズム(異国情緒)」から大きな関心を示していた。



林自身が浮世絵や版画などは芸術と思っていなかっただけに、この熱狂に逆ショックをうけて、日本美術の本格的な研究に取り組んだ。明治17年(1884)、31歳でパリに美術店を開店、浮世絵などの日本美術の売買に力を注いだ。

パリのジャポニズムがどんなものだったのか、一八六七(慶応3年)のフランスの新聞記事「日が昇る帝国」によると「最初の版画の到来は、文字通り衝撃をもたらした。

ほんの小さな画帖でさえ、高値で買い争われた。何千枚という単位がたちまち売り切れた。まさしく熱狂というべき様相を帯びるこの人気に商人たちはまず驚いた」(小山ブリジッド著「夢見た日本—エドモン・ド・ゴンクールと林忠正」平凡社、2006年刊)と伝えている。

一八七八年のパリ万博当時のフランス新聞記事「パリにおける日本」では、ジャポニザン(日本文化愛好者)として「ルーヴル美術館絵画部門学芸員・M・ヴィヨ、画家のマネ、ティツ、ドガ、デュラン、モネ、版画家のブラックモン、作家のエドモン、ゴンクール兄弟、ゾラ、旅行家のエミール・ギメ・・・」らを上げ、こうした連中がサロンでジャポンを熱く語り、「ジャポニズム」は芸術家から市民層へ、さらにヨーロッパ全体へと広がっていったのである。

林はジャポニザンの中心的存在であった小説家のエドモン・ゴンクール(1822-1896)と知り合い、日本美術を売買すると同時に、その知識を伝え執筆にも協力した。

彼の『歌麿』(1891)や『北斎』(1896)の浮世絵研究の決定版は林が調査し、質問に答え、下書きするなど全面的に協力した産物であり、林との共著と言えなくもない。ルイ・ゴンスの『日本美術』(1881年)にも助言を与えた。

そうした林との交流ぶりが『ゴンクール日記』(1851~96)には事細かに語られており、林の果たした役割の大きさが伝わってくる。

国際的美術商として林はパリで一大成功をおさめた。

その活躍ぶりは浮世絵の大量販売部数にもあらわれ「1890年八月から1901年までに218回荷を送る。その内訳は、一五万六四八七枚の浮世絵、絵画、デッサン九七点、図版入り書九七〇八点、屏風など八四六枚であった」(小山ブリジッド同著)というから驚く。

しかし、浮世絵の値段も高騰して、入手しがたくなり、売上げも落ちてくる。1900年、林はパリ万博の日本事務官長に任命されたのと同時に閉店を決意する。



鑑取  
FALCONER  
鈴木長吉  
ARTIST  
SUZUKI Chokichi  
林忠正  
DESIGNER  
HAYASHI Tadamasu

パリ万博では法隆寺金堂を模した日本パビリオンを作り、そこで仏像、陶器など古今の名品800点を展示、日本式の庭園とともに圧倒的な人気を博した。

この功績でフランス政府から「レジオン・ド・ヌール」3等

勲章を受章、翌年日本政府からも叙勲された。

林は通算27年間、パリで暮らしたが、日本の才能も数多く育てた。日本最初の洋画家・黒田清輝は当初、法律を志してフランスに留学してきたが、林の影響で洋画家に転じた。

林は西洋絵画を収集した初の日本人でもあり、そのコレクションは交友した印象派の作品や名画など合計600点にも上っていた。

日本で西欧式のホテルと美術館を造るプランを抱いて明治 34 年(1901)、林は帰国する。膨大な美術品、名品の数々とホテル用の家具、調度品、芸術品も持ち帰っていたが、実現することなく、明治 39 年、52 歳で急死した。

日本美術の海外普及の先駆者として、これほどの大きな業績をあげた男はいない。没後100年にして、今、林の再評価が始まっている。

<禁転載>